

「京都ぼーく」種豚の隔離検疫を実施

－全頭異常なく、増産に期待－

府内のブランド産品である「京都ぼーく」の生産拡大のため、養豚農家が九州から種豚を導入するのに伴い、伝染病の侵入を防ぎ、生産農家が安心して生産に取り組めるよう、当センターの施設を用いて、家畜保健衛生所とともに隔離検疫を実施しました。雄10頭、雌8頭を3週間観察し、全頭異常がないことを確認の上、養豚農家3戸に引渡しました。



畜産センター到着時に行った豚個別別観察の様子

畜産センター